

# SETUP GUIDE

## 設置手順書 組立編

55V/60V/65V/75V/86V型 xSync Board

【標準スタンド T-K5340】

Ver.1.0

《該当ディスプレイは以下のモデルです》

- 55型ディスプレイ: S55E1/M55PE2S
- 60型ディスプレイ: PN-C605B
- 65型ディスプレイ: EL65R1/PN-C651B/S65E1P/M65PE2S
- 70型ディスプレイ: PN-C705B
- 75型ディスプレイ: EL75R1/T75EB/M75PE2S
- 86型ディスプレイ: EL86R1/M86PE2S

※システム型番については

「別表:ディスプレイ高さと棚板位置関係表」を参照してください。

※最新の手順書は下記サポートページを参照ください。

WEB公開される[サポートページ]には本製品のマニュアル、バージョンアッププログラム、修正プログラム、設置手順書等が掲載されています。

最新の手順書が掲載されている場合は、必ず該当の手順書に沿って作業を実施してください。また、バージョンアッププログラム、修正プログラムが掲載されている場合、該当するプログラムをダウンロード後、付属する適用手順書に沿って作業を実施してください。

【サポートページ】 <https://www.elmo.co.jp/xsync/support/index.html>

2020年 6月 17日

株式会社エルモ社

PSCE-X058-0

## ■ 注意事項



### 警告

本手順書は設置業者向けに作成されているものです。十分な技術、技能を有する専門業者が据付けを行う事を前提にしております。



作業員三人以上で行う必要のある項目があります。

作業は周りに子どものいない場所で行ってください。

据付け・取付けの不備、誤使用、改造、天災などによる事故損傷については、弊社は一切責任を負いません。

弊社の供給した部品以外の不具合により発生した損害に対しては、弊社は一切責任を負いません。

本システム構成品についての詳細は、各製品に付属の取扱説明書をご覧ください。

各製品付属の取扱説明書に記載の注意事項も合わせてご確認ください。

## ■ 図記号の意味

■ 表示内容を無視して誤った使い方をしたときに生じる危害や物的損害の程度を、次の表示で区分し、説明しています。



### 警告

この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重症を負う可能性が想定される内容を示しています。



### 注意

この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が障害を負う可能性が想定される内容及び物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

■ お守りいただく内容の種類を、次の絵表示で区分し、説明しています（下記は絵表示の一例です。）



この記号は注意(警告を含む)しなければならない内容であることを示しています。



この記号は禁止(やってはいけないこと)を示しています。



この記号は、行動を強制したり指示したりする内容を示しています。

### ご注意

- (1) 本書の内容の一部または全部を、無断で他に転載することは禁止されています。
- (2) 本書の内容は、将来予告なしに変更することがあります。
- (3) 本書の内容は万全を期して作成しておりますが、万一、ご不審な点や誤り、記載漏れなどお気づきの点がありましたらご連絡ください。

# はじめに

## 梱包内容の確認

構成品は下記の通りとなります。

	品名	数量	チェック
1	タッチディスプレイ	1	
2	キャリアブルスタンド	1 (2梱包)	
3	ユーティリティソフトウェア xSyncClassroom	1	
4	イーजीコントローラー	1	
5	xSyncBoardシール	1	

### 【納品物を確認してください】

●「EL86R1/M86PE2S/T75EB/M75PE2S」は、付属の「モニター用アタッチメント」が別梱包で納入されます。

## 必要工具・用具

設置にあたって必要な用具は下記の通りとなります。

	工具・用具	用途	チェック
1	カッターナイフ	開梱用	
2	プラスドライバ	組立用 (#3, #2)	
3	結束バンド	ケーブルのスタイリング用	
4	メジャー (定規等)	EC取付け、他	
5	養生シート	床を傷つけないため、毛布でも可	
6	ぞうきん	掃除用	
7	掃除機	掃除用	
8	乾いた布	ディスプレイ清掃用	



ディスプレイ面の清掃はディスプレイの取扱説明書に従ってください。



カッターナイフを使って開梱する場合、商品を傷つけないように注意してください。

## スタンドの本体・梱包のサイズ及び質量

本体サイズ・質量 W800 x D800 x H1568 (mm) 約 37.9Kg

梱包サイズ・質量

	外寸 [mm]	重量 [kg]	備考
梱包①/重量	W870 x D870 x H190	約26	ベース部と付属品類 (中箱あり)
梱包②/重量	W1460 x D835 x H165	約21	支柱部

## 事前に準備するケーブル類

設置環境に合わせてご用意ください。

	品名	チェック
1	OAタップ (3Pの7個口、5m) TAP-MG375FKN5同等以上品 (注1)	
2	USB HUB BSH4A120U2BK同等品以上 (PCの端子数に対して、USB接続する周辺機器の数が多い場合に必要です)	

\*注1: OAタップが無い環境では、ディスプレイの電源用に、3P → 2P 変換アダプタ(TAP-AD8BK同等品以上)が必要です。

# ■ 組立て手順の確認



## -----以下の手順と指示に沿って作業を進めてください-----

組立手順書(本書)の作業手順に従い、また個々の機器の取扱説明書やセットアップマニュアル等を参照、注意事項を確認してください。尚、最新の設置手順書・マニュアル・修正プログラムを確認し、必要に応じてダウンロード、適用してください。

### ■STEP 1: キャリアブルスタンドを組立てる

.....本書の該当ページを参照。「T-K5340」の組立/取扱説明書も参照のこと。

「別表:ディスプレイ高さと同板位置関係表」を参照し、ディスプレイの高さを想定して同板を取り付けます。

\* ディスプレイの高さ設定が不明な場合には顧客に事前に確認願います。

### ■STEP 2 : スタンドへディスプレイを取り付ける

.....本書の該当ページを参照

「別表:ディスプレイ高さと同板位置関係表」を参照し、ディスプレイを、スタンドへ取り付けます。

**(注)ディスプレイをスタンドに取り付ける際は、周りに注意を払い、3人以上で行ってください。**

### ■STEP 3 : イージーコントローラーを取り付ける

.....本書の該当ページを参照

\* イージーコントローラーの標準の取り付け位置は画面右側です。  
顧客希望を事前に確認してください。

### ■STEP 4 : 結線作業

.....本書の該当ページを参照

### ■STEP 5 : 仕上げ作業

.....本書の該当ページを参照

結線のスタイリングやシール貼り作業、リモコンに電池を入れる等の作業を行います。

### ■STEP 6 : 組立て工程のまとめ

・ディスプレイの設定を行う

\* 詳細な設定は、各ディスプレイの取扱説明書をご覧ください。

・付属品の確認を行う

・「チェックリスト」項目の確認を行う

本書に付属の「チェックリスト」中の各項目を確認してください。

・ソフトのインストールを行う

別途用意されている設置手順書インストール編を参照してください。

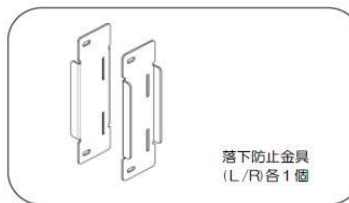
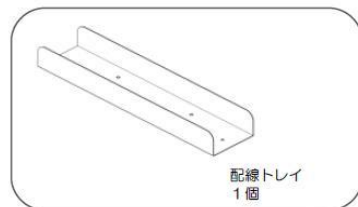
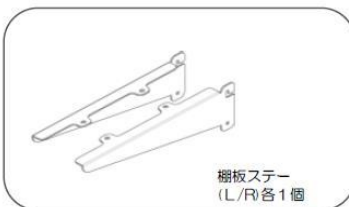
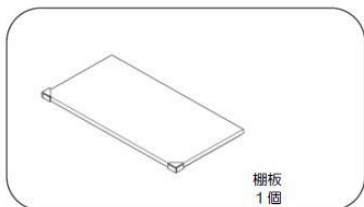
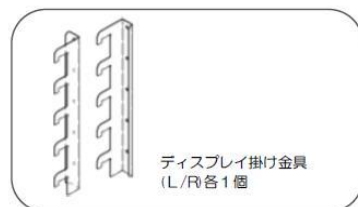
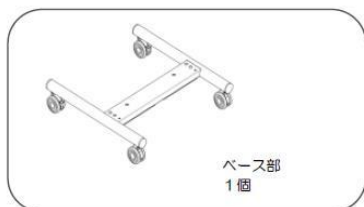
# STEP.1 ディスプレイスタンドを組み立てる

## 1. ディスプレイスタンドの開梱

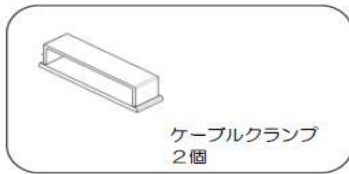
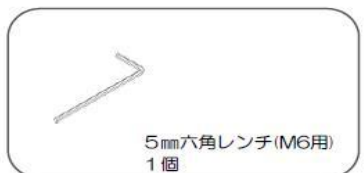
カッターナイフでテープを切断し段ボールを開梱します。(スタンドに傷をつけないように注意してください)  
※開梱前に段ボールにダメージが有る場合、製品に影響が無いかご確認ください。  
製品に破損等有った場合には、写真等の記録を添付の上弊社にご相談ください。

## 2. 構成部材の確認(T-K5340)

### ■構成部品



### ■本体組立用ネジ類



### ■ディスプレイ固定用ネジ

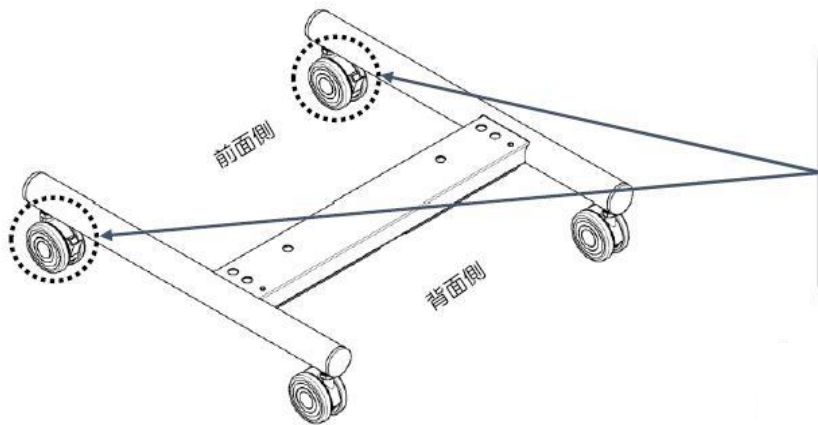


※  
ネジ類はブリスター梱包  
に区分して収納されてい  
ます。

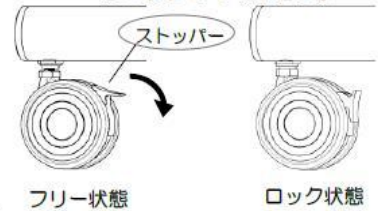
# STEP.1 ディスプレイスタンドを組立てる

## 3. ベース部と支柱部の取り付け

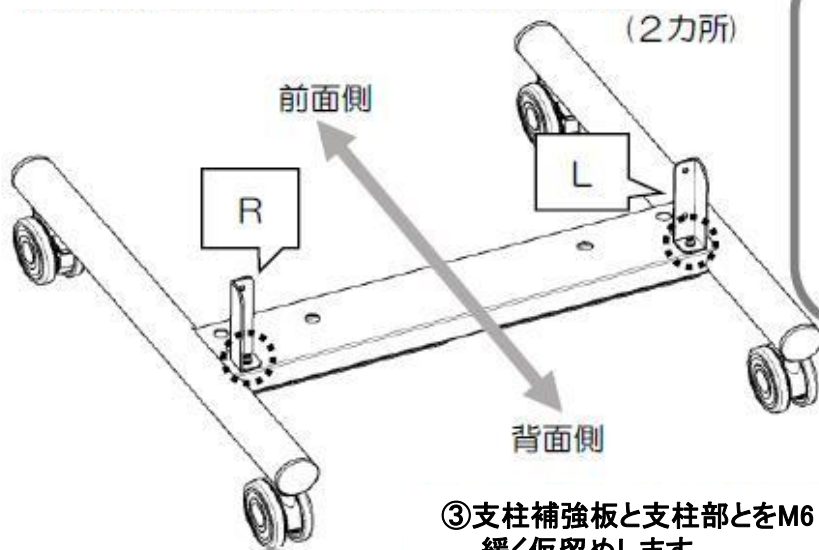
①ベースを取り出し、キャスターのストッパーを降ろしてロックしてください。



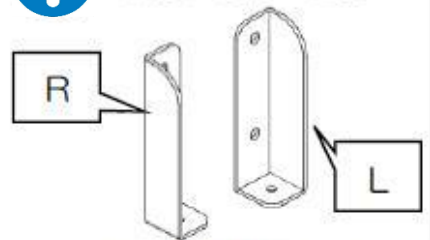
ベース部前面側のストッパー付きキャスターをロックしてください。



②ベース部に支柱補強版(L/R)を取り付けます。  
M6 x 20 CAPボルトを動く程度に緩く仮留めします。

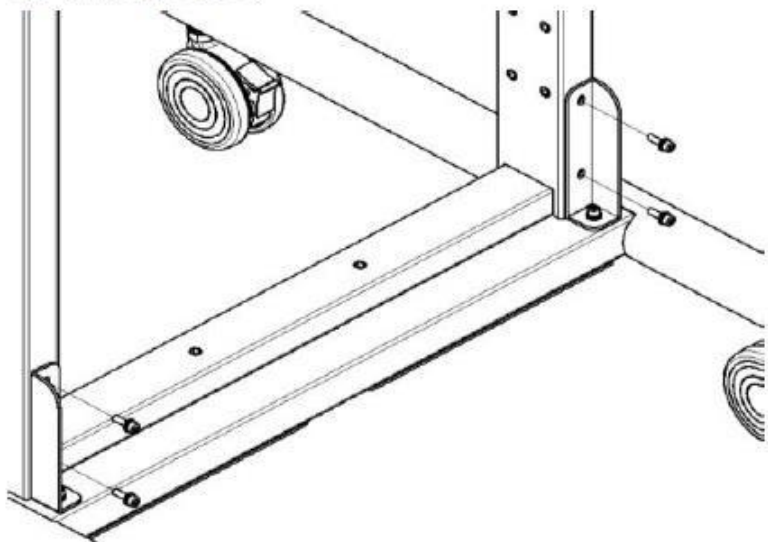


取付け方向に注意



支柱補強板(L/R)

③支柱補強板と支柱部とをM6 x 20 CAPボルト4本で緩く仮留めします。





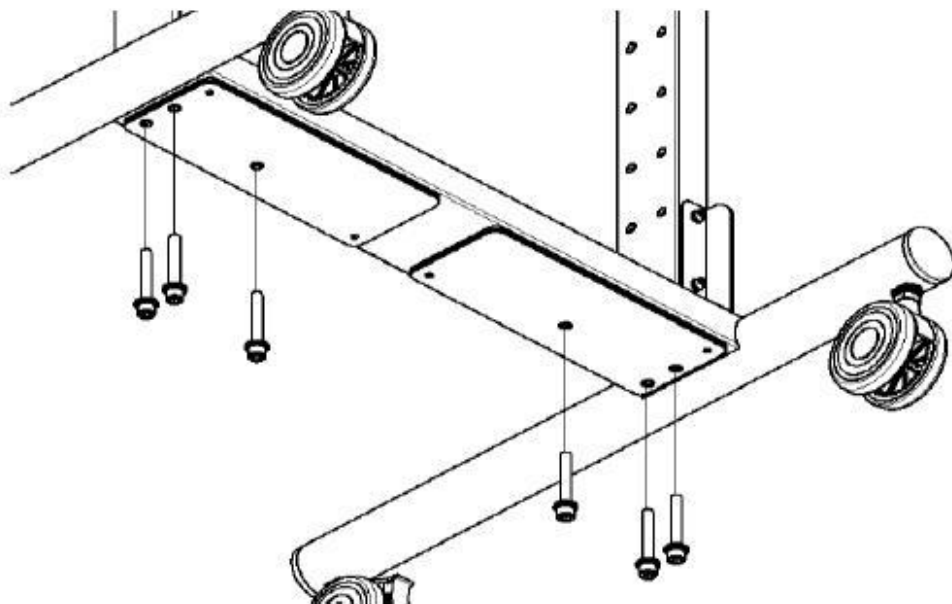
# STEP.1 ディスプレイスタンドを組立てる

## 3. ベース部と支柱部の取り付け

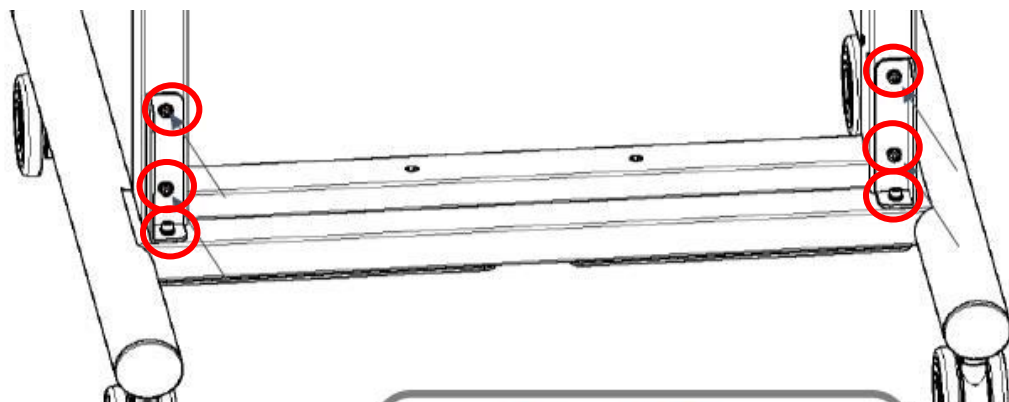
④ M10ワッシャー、M10バネ座金をM10x70 CAPボルトに差し込みます。6セット作ります。



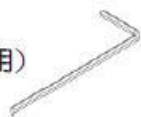
⑤ 支柱部が傾かないように保持しながらベース部底面からM10x70CAPボルトをねじ込みます。この時、左右の穴位置を微調整し合わせながら6本全てを緩く仮留めします。



⑥ M10x70 CAPボルト x 6本全てが仮留めできたら、支柱補強板のM6x20CAPボルト6本を本締めします。



ボルトの取付けには、  
付属の5mm六角レンチ (M6用)  
を使用します。

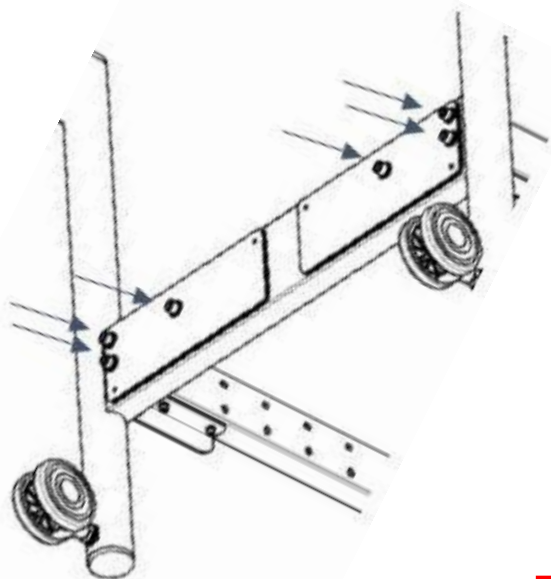


各ボルトを締め付け、  
しっかりと固定します。  
ボルトの締め付けについては  
安全確保のため、  
強固に締め付けてください。

# STEP.1 ディスプレイスタンドを組立てる

## 3. ベース部と支柱部の取り付け

⑦支柱補強板のM6x20CAPボルト6本を本締め出来たら、支柱部を倒し M10x70 CAPボルト x 6本全て本締めを行います。



各ボルトを締め付け、しっかりと固定します。ボルトの締め付けについては安全確保のため、強固に締め付けてください。

ボルトの取付けには、付属の8mm六角レンチ (M10用) を使用します。

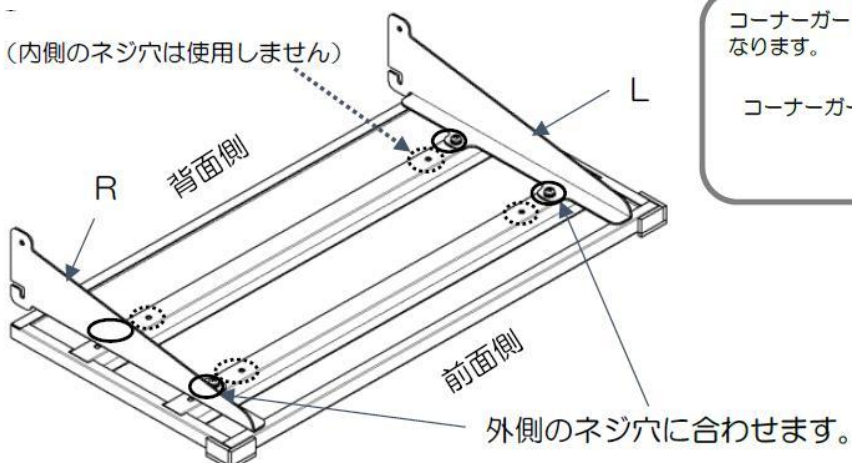


(注) 支柱補強板に負荷がかからないように、ゆっくり倒し、梱包箱等を敷いて支柱部が水平になるようにしてM10ネジを締めてください。

(注) 作業は養生シートの上で行い、スタンドや床等を傷つけないようにしてください。

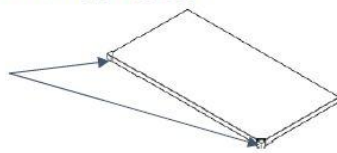
## 4. 棚板の取り付け

①棚板を裏向けにし棚板ステー(L/R)をM6x20なベネジで緩く仮留めします。



コーナーガードがついている方が前面側となります。

コーナーガード

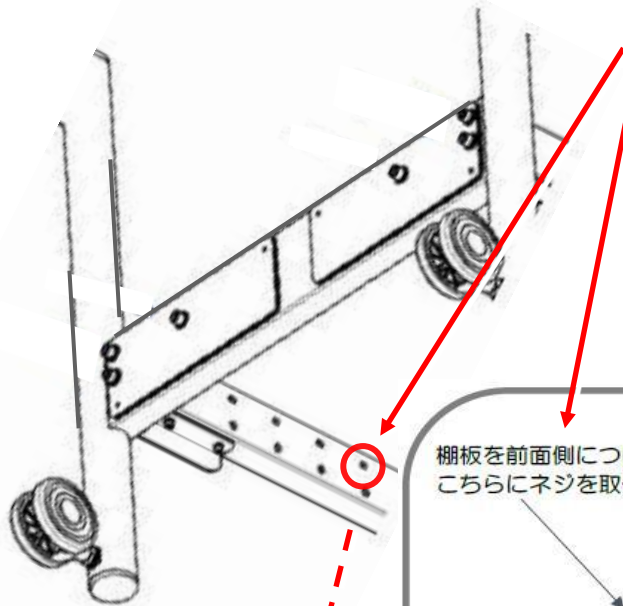




# STEP.1 ディスプレイスタンドを組立てる

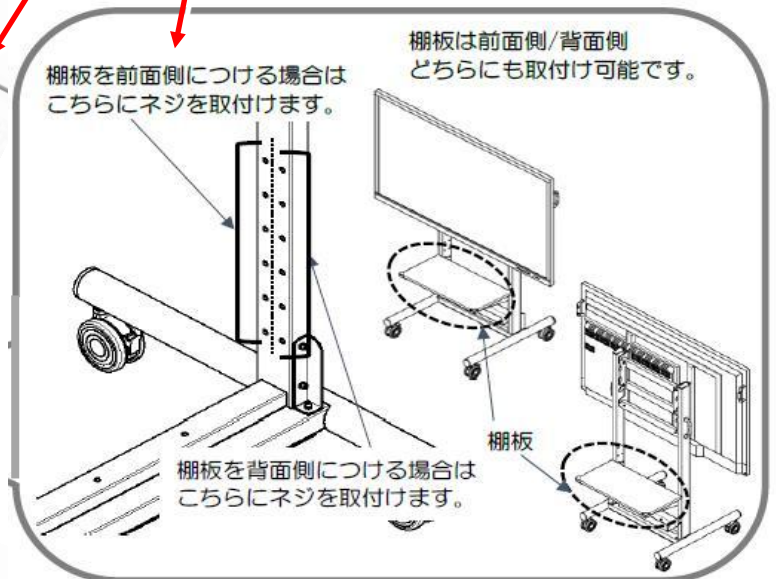
## 4. 棚板の取り付け

- ②棚板を設置する高さに応じた支柱部のネジ穴にM6x20なベネジを取付けます。  
この時棚板ステーが引っかけられるように上側のネジ穴にのみネジ先端部だけねじ込みます。



棚板取付け位置を決め（前後上下）  
ねじを緩く上側のみ取付ける。

\* ディスプレイを低く取り付けた場合、  
棚板が付かない位置があります。  
詳細は、別表：ディスプレイ高さ  
と棚板位置関係表を参照してください。

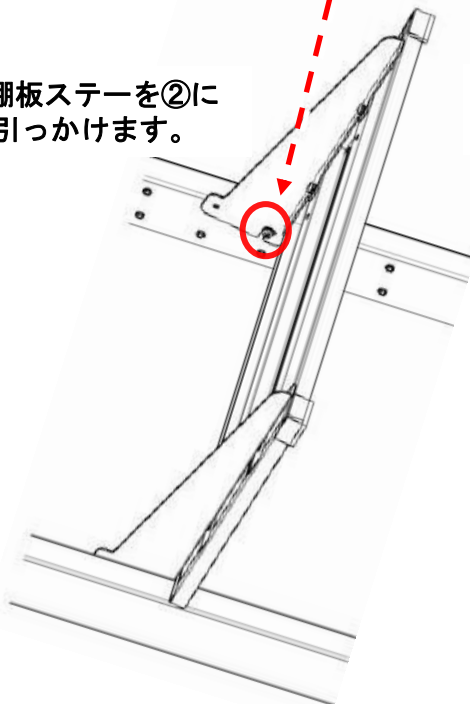


棚板を前面側につける場合は  
こちらにネジを取付けます。

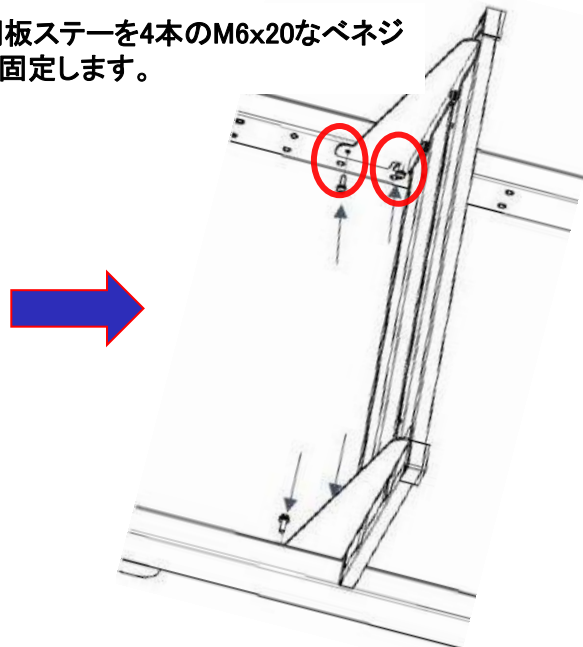
棚板は前面側/背面側  
どちらにも取付け可能です。

棚板を背面側につける場合は  
こちらにネジを取付けます。

- ③棚板ステーを②に  
引っかけます。



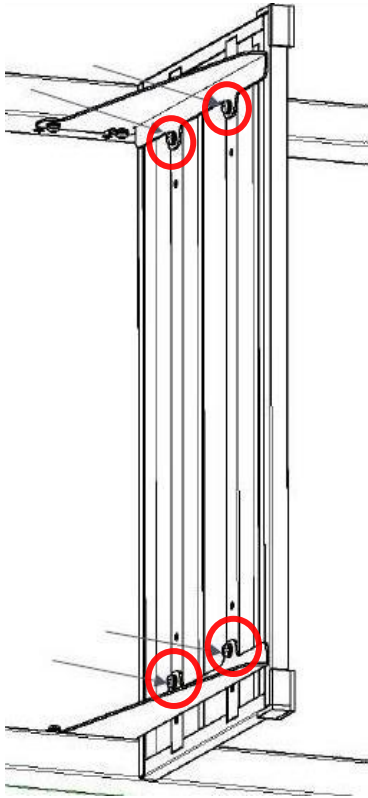
- ④棚板ステーを4本のM6x20なベネジ  
で固定します。



# STEP.1 ディスプレイスタンドを組立てる

## 4. 棚板の取り付け

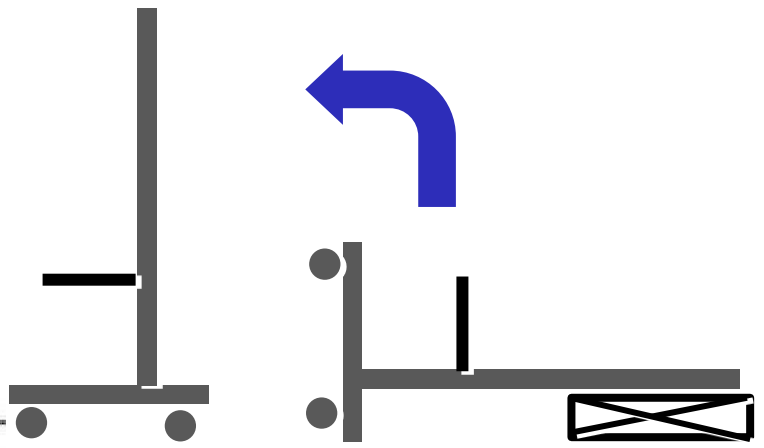
⑤棚板の位置を微調整して棚板裏側のM6x20なベネジを本締めします。



各ネジを締め付け、しっかりと固定します。  
ネジの締め付けについては  
安全確保のため、強固に締め付けてください。

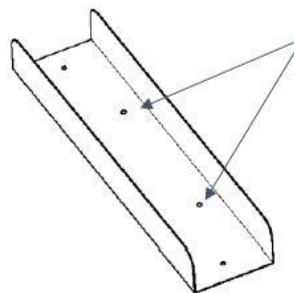
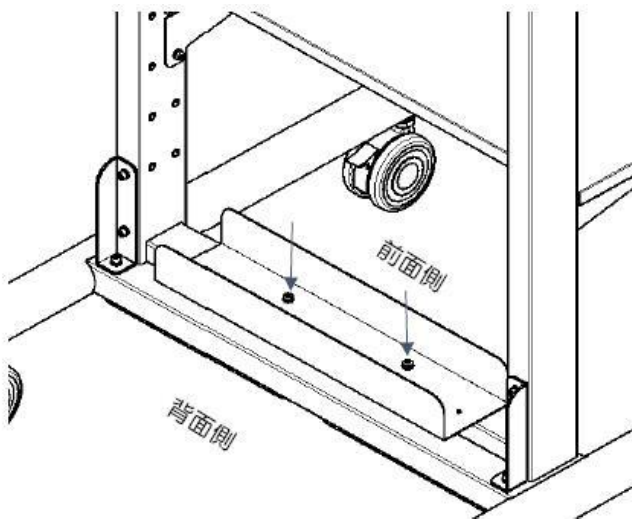
⑥スタンドを起こします。

(注) 周囲に注意しながら、2人以上で作業してください。



## 5. 配線トレイの取り付け

配線トレイの穴を支柱下面パイプのネジ穴に合わせてM6x20なベネジで固定します。



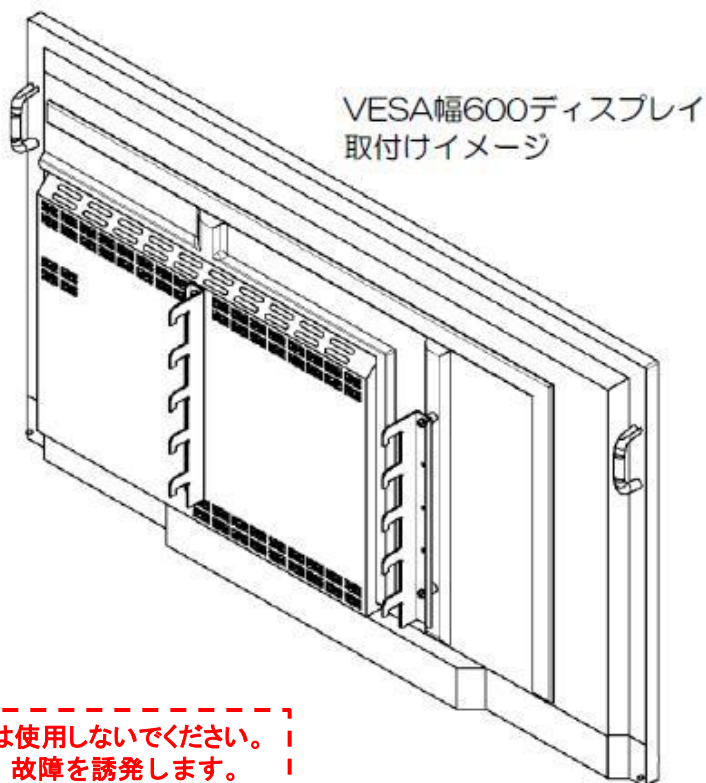
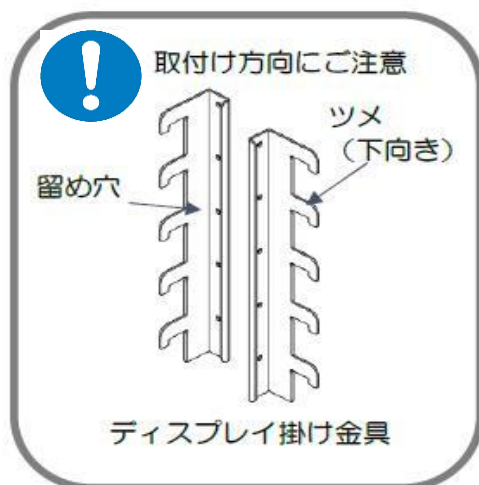
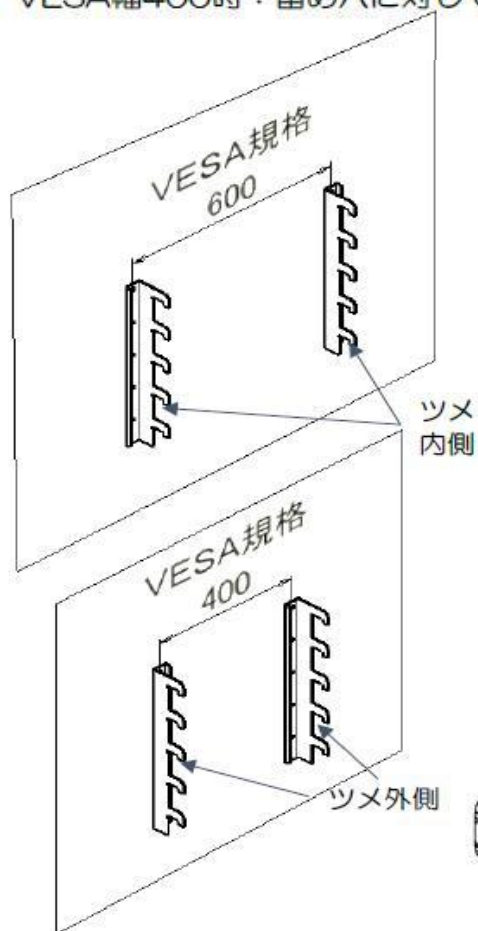
前面側に取付け穴がくるように  
配置します。

## STEP.2 スタンドへディスプレイを取り付ける

### 1. ディスプレイへのディスプレイ掛け金具の取り付け

ディスプレイ背面のVESA穴にディスプレイ掛け金具を取り付けます。

VESA幅600時：留め穴に対してツメがディスプレイ内側に寄るように  
VESA幅400時：留め穴に対してツメがディスプレイ外側に寄るように  
L/Rの掛け金具を配置します。



取付けには、ディスプレイ付属のネジは使用せずスタンドに付属のネジを使用してください。ただし、アタッチメント金具がある場合には、金具付属のネジを使用してください。

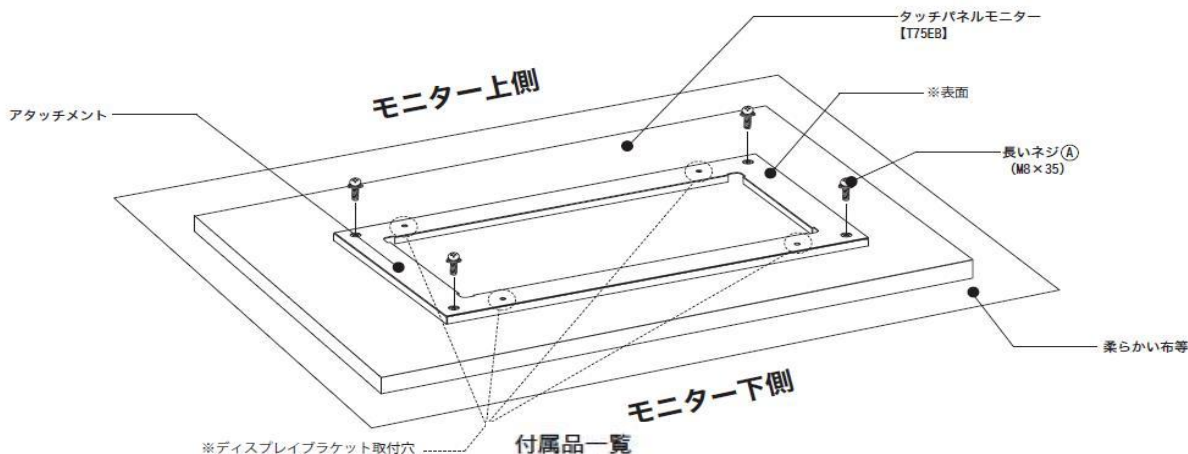


取り付けにはインパクトドライバーは使用しないでください。ディスプレイに衝撃が加わると、故障を誘発します。

# STEP.2 スタンドへディスプレイを取り付ける

(注)「T75EB/M75PE2S/M86PE2S/EL86R1」の場合

ディスプレイに専用のアタッチメントを取り付けた後、付属の短いネジ②(M8 x 20)でディスプレイアングルを取り付けます。詳しくは「モニター用アタッチメント」の設置手順書を参照願います。



付属品一覧

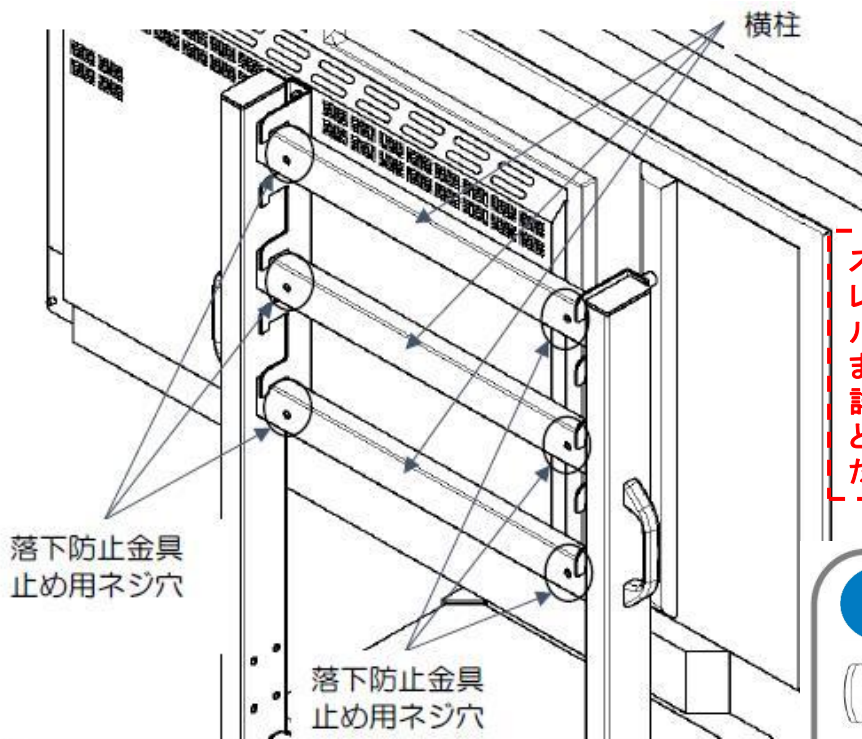
長いネジ①	M8 x 35	×4本	(アタッチメント取付用)
短いネジ②	M8 x 20	×4本	(ディスプレイブラケット取付用)

※EL86R1アタッチメントには短いネジ②(M8 x 20)は付属されていません、スタンド付属ネジを利用してください

## 2. スタンドへのディスプレイの取り付け

①キャスターをロックしてからディスプレイを前面側より寄せスタンド横柱部に掛け金具のツメを引っかけます。

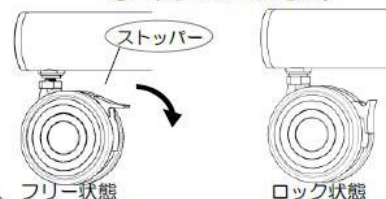
片側の掛け金具ツメが横柱3本のうち2本以上に引っかかる高さで取付けます。



スタンドに掛けた時のディスプレイ高さは、ディスプレイアングルの取り付け位置により変わります。詳細は、別表:ディスプレイ高さ と 棚板位置関係表を参照してください。



ベース部前面側のストッパー付きキャスターをロックしてください。



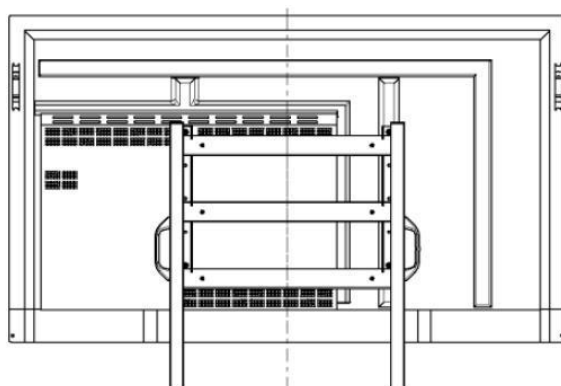
5段階の高さ調節が可能です。高さ設定は、必ずお客様に確認してください。



# STEP.2 スタンドへディスプレイを取り付ける

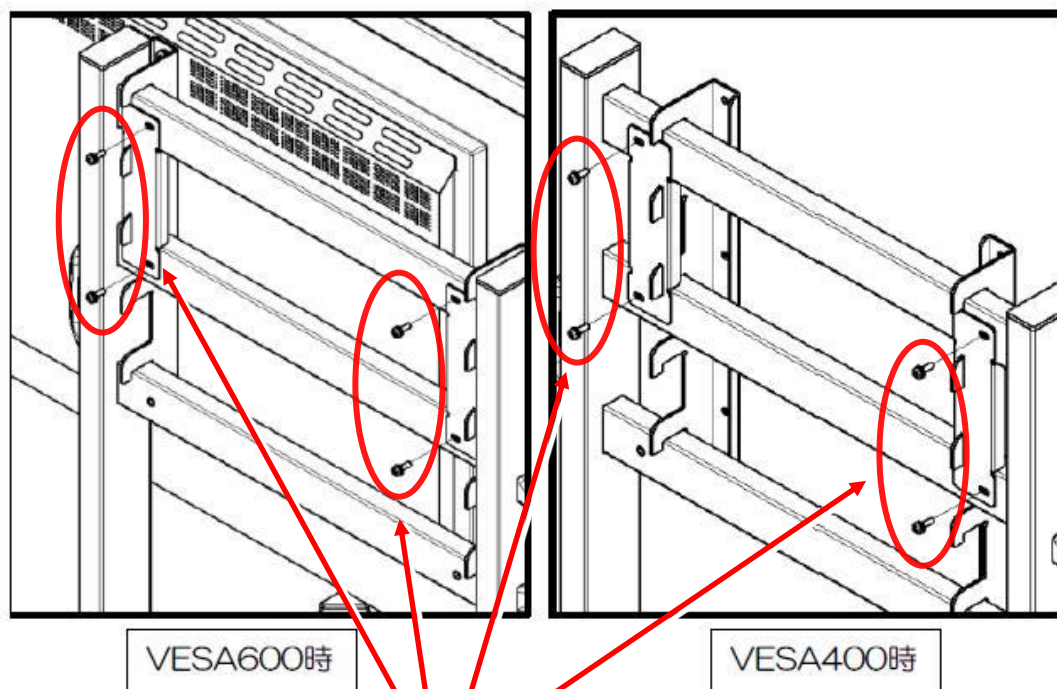
## 2. スタンドへのディスプレイの取り付け

②ディスプレイの幅方向中心が  
スタンド中心に来るように移動  
調整します。



## 3. 落下防止金具の取り付け

落下防止金具の角穴を②のツメに差し込み、支柱にM6x20なベネジで固定します。



**!** 落下防止用ネジです。  
4箇所確実に取り付け  
てください。

VESA600/400で金具の向きが変わります。  
落下防止金具の長穴と、  
止め用ネジ穴を合わせてください。

落下防止金具



**!** 落下防止金具を取り付けるまで  
スタンドを移動させないでください。  
ディスプレイが落下する可能性があります。

**!** 各ネジを締め付け、しっかりと固定します。  
ネジの締め付けについては  
安全確保のため、強固に締め付けてください。

# STEP. 3 イージーコントローラーを取り付ける

## 1. イージーコントローラーをディスプレイに取付ける

イージーコントローラー(EC)「T-EC07/T-K6065」の取り付けには、同梱されている面ファスナーを使用します。

面ファスナーx1枚  
(ループ)



EC(裏)  
(フック付)

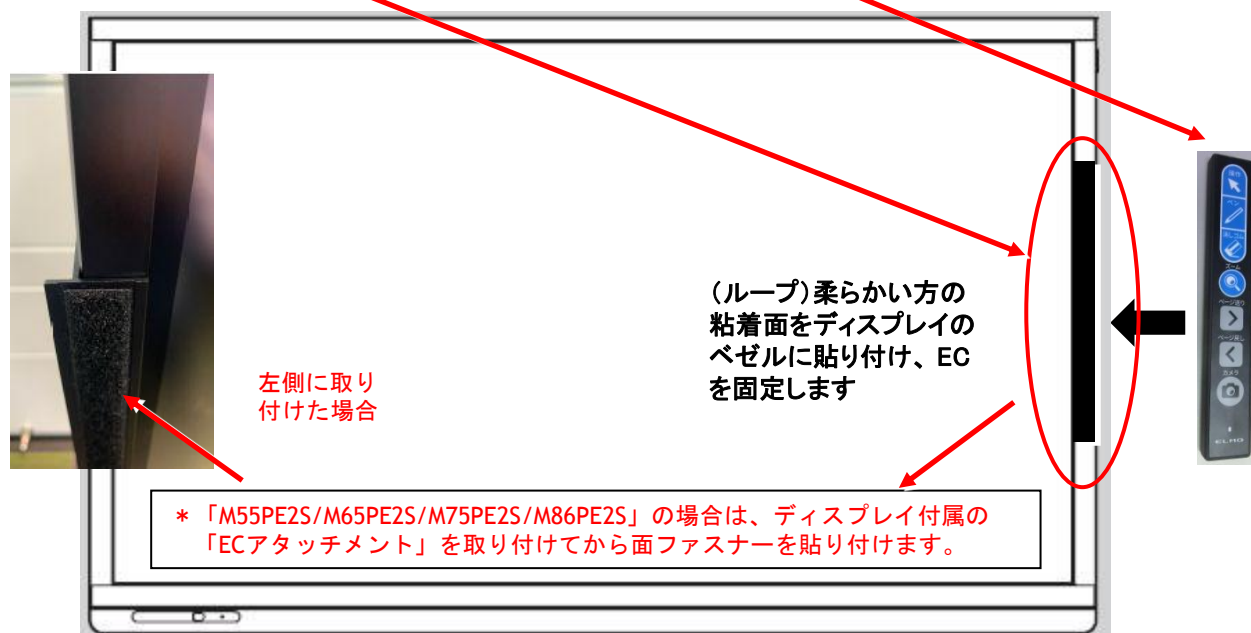


EC(表)



T-EC07

T-K6065



\* ECは、電子黒板の状況によっては、画面の左側に付けた方が使いやすい場合もあります。事前にユーザーに取付位置を確認してください。

\* 「ECアタッチメント」の取付方法はディスプレイ付属の説明書を参照ください。



# STEP.4 仕上げ作業

## 1. コーシオンシーラー式を貼る

❗ 「型番シール」は、機器の梱包箱に貼り付けてある型番シールを確認の上、使用してください。

	名称	数量	チェック
1	型番シール	1	
2	移動時の注意シール	1	
3	FREE/STOP シール	2	
4	あぶない教示シール	2	
5	棚板シール	1	

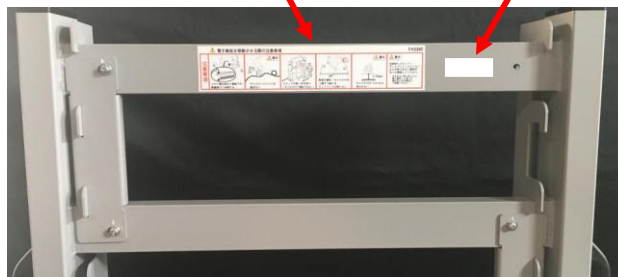
「型番シール」は、ディスプレイスタンドに同梱されています。

CBS-SHC60S6CL	CBS-SHC65S6CL	CBS-SHC70S6CL	CBS-LCT55S6CL	CBS-LCT55S6CL-T
CBS-LCT65S6CL	CBS-LCT65S6CL-T	CBS-LCT75S6CL	CBS-LCT75S6CL-T	CBS-LCT55S7CL
CBS-LCT55S7CL-T	CBS-LCT65S7CL	CBS-LCT65S7CL-T	CBS-LCT75S7CL	CBS-LCT75S7CL-T
CBS-LCT86S7CL	CBS-LCT86S7CL-T	CBS-SHC65S7CL	CBS-ELM65S7CL	CBS-ELM75S7CL
CBS-ELM86S7CL	CBS-	CBS-	CBS-	CBS-
ELB-ELM65S7	ELB-ELM75S7	ELB-ELM86S7	ELB-	ELB-

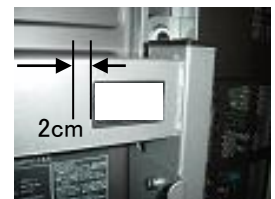
**\* 該当する型番シールのみ貼り、使用しなかった型番シールは、お客様に渡さず破棄してください。**

『移動時の注意シール』  
背面上横柱の中央の場所に  
上下中心に貼ります。

移動時の注意シール      型番シール



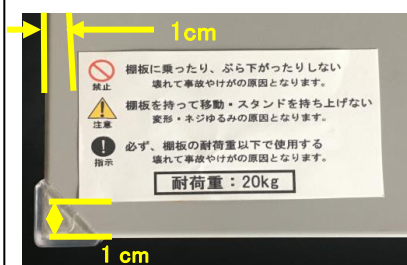
『型番シール』  
「移動時の注意シール」  
の右端から2cmの場所  
に合わせて上下中心に  
貼ります。



『あぶないシール』 × 2枚  
スタンド支柱外側にある取っ  
手の下1cmの位置に貼ります。  
(両側の柱にケーブルで  
隠れないように貼ります。)



『棚板シール』  
棚板の前方左端の場所に、前・横  
端から1cm内側に貼ります。



『STOP/FREE シール』 × 2枚  
脚の手前内側、金属部先端から  
1cm、上下中心に貼ります。  
反対側の脚にも貼ります。



## STEP. 4 仕上げ作業

### 2. xSync Boardシールを貼る

「xSyncBoardシール」を、1枚選び、ディスプレイ右下の位置に貼ってください。



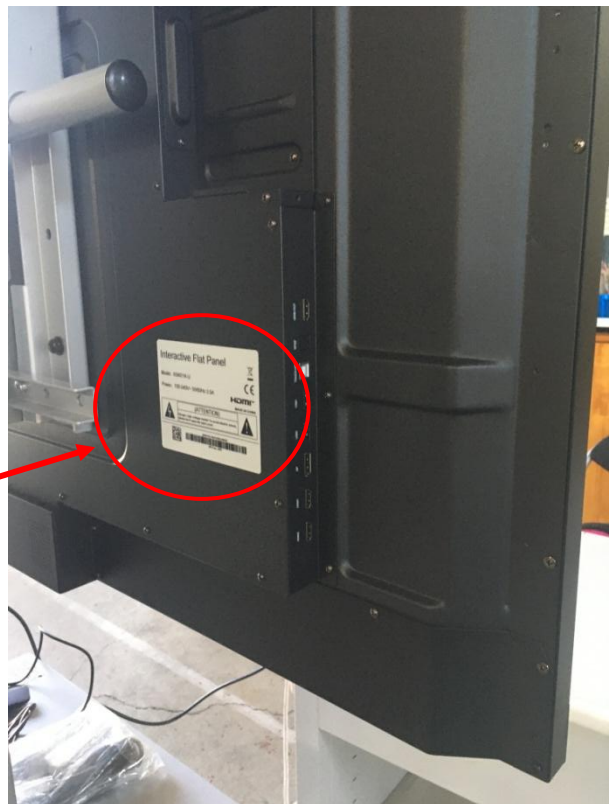
4枚のシールのうち、左下のシールを基本とします。



### 3. シリアルNo.を記録する

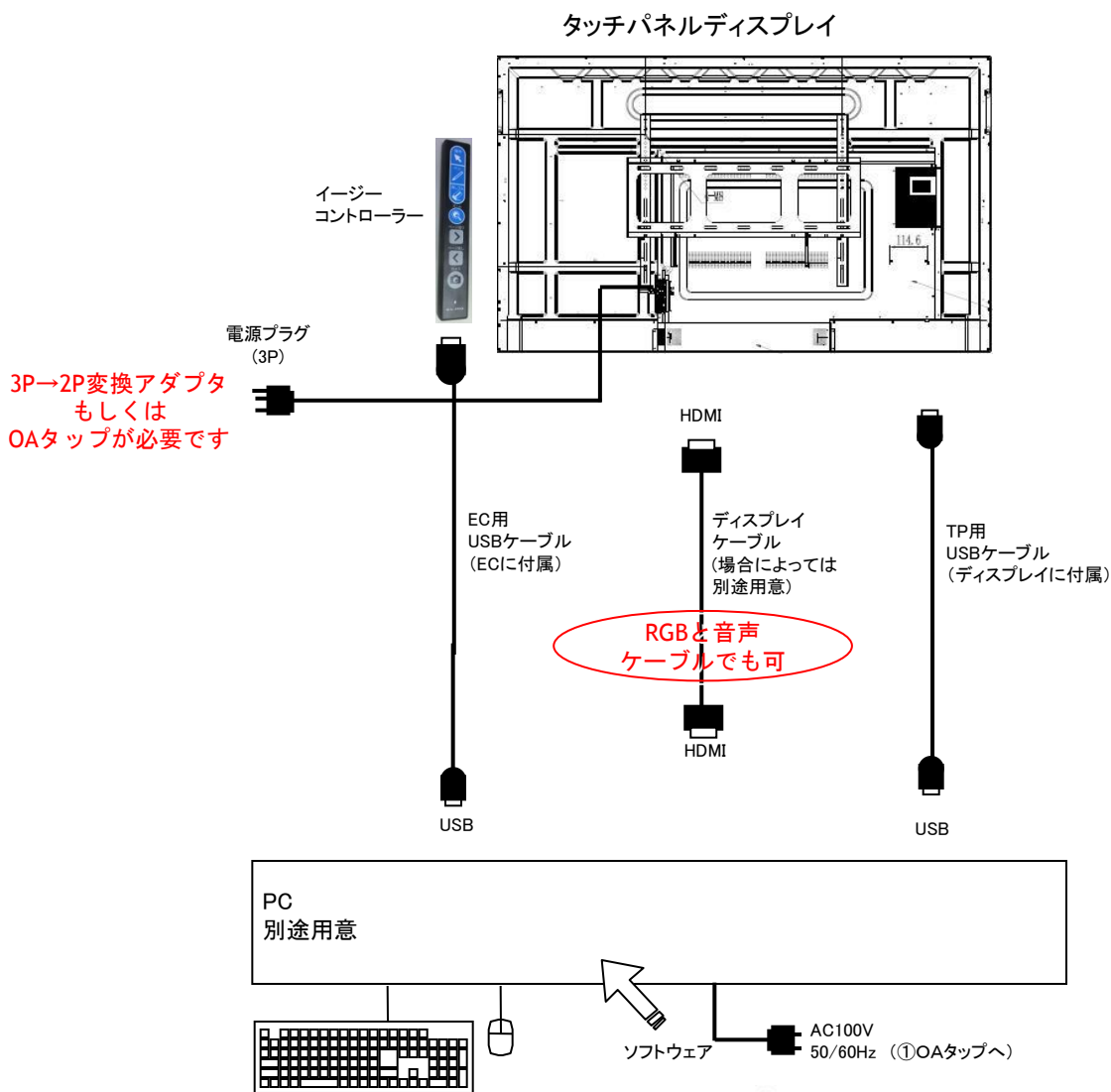


ディスプレイのシリアルNo.を、  
チェックリストに記録します。  
機種によってシリアルNo.シール  
が貼ってある位置は異なります。



# STEP.5 結線作業

接続イメージ (モデルにより端子や場所が異なる場合があります)

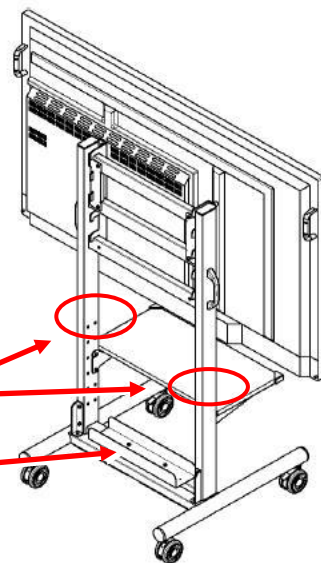


\* PCへ結線する際、スタンドの支柱に「ケーブルクランプ」で固定してください。線長が余る場合は、「配線トレイ」に収め、スタンドの移動時に引きずらないようにしてください。



ケーブルクランプ

配線トレイ



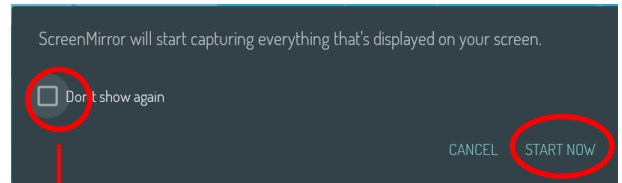
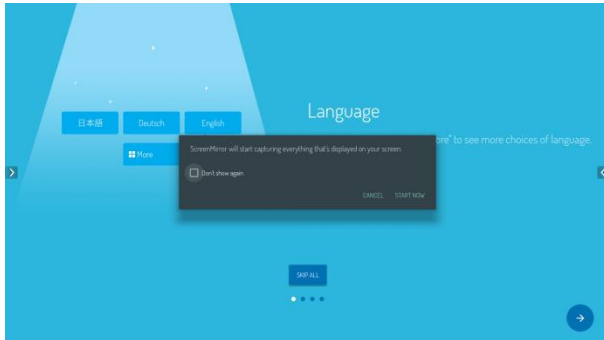
# STEP.6 組立て工程のまとめ

## 1. ディスプレイの設定を行う

**!** 必要に応じてディスプレイの設定を行ってください。(不要な場合もあります。)  
詳細な設定は、各ディスプレイの取扱説明書をご覧ください。

### EL65R1/EL75R1/EL86R1の初期設定

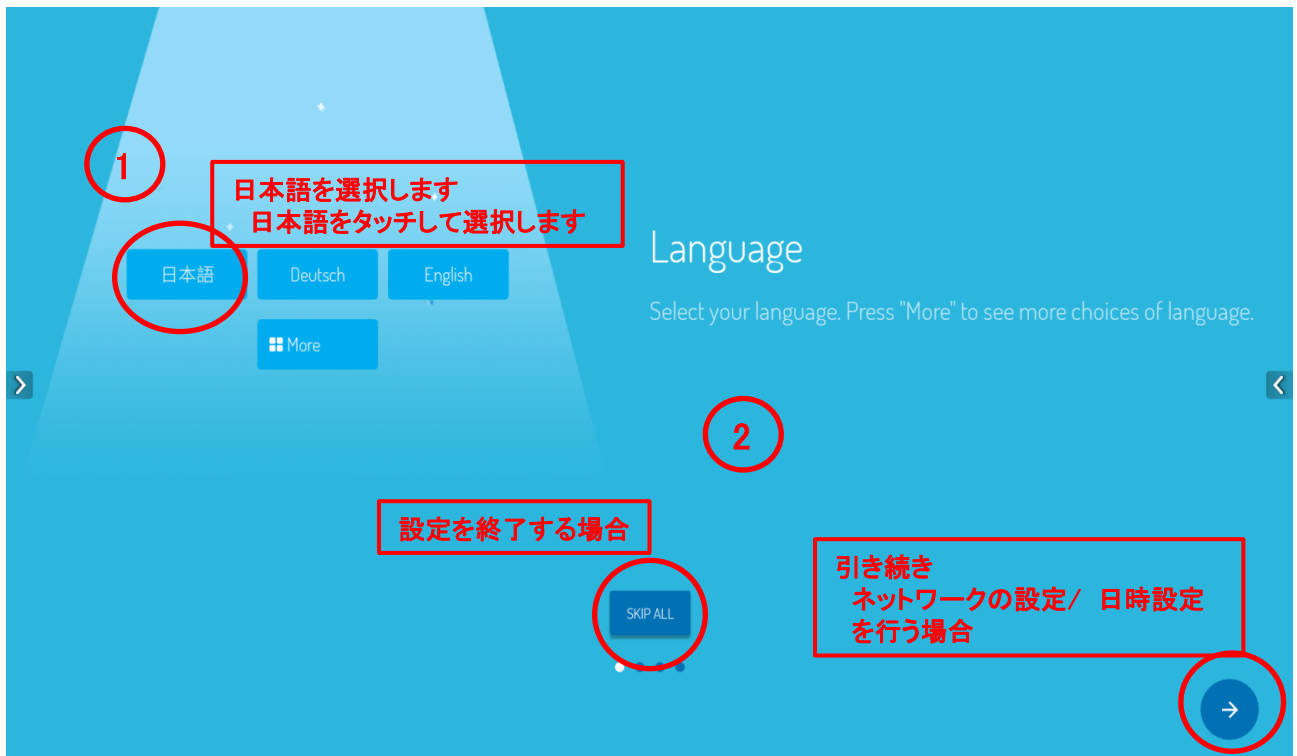
初めてディスプレイの電源をONにすると初期設定画面が表示されます



**!** 今後この画面を表示させない様に設定します。  
チェックを入れて「START NOW」を押してください

「言語の設定」「ネットワークの設定」「日時の設定」の順に設定画面が表示されます。

「言語設定」以降の設定は「すべてをスキップする」または「→」アイコンを押してスキップできます。  
※言語・ネットワーク・日時の設定は再設定できます。



## ■ STEP.6 組立て工程のまとめ

### 2. 付属品類の確認

! 各付属品をまとめ、お客様に渡してください。

### 3. 「チェックリスト」項目の確認をする

! コーションシールセットに同封の「チェックリスト」中の各項目を確認してください。  
\* 案件によっては、作業内容が異なるため、専用のチェックシートを作成する場合があります。  
現場の責任者に確認願います。

### (補足) インストール作業について

! インストール作業時の注意事項

インストール作業は、Administrator権限のあるユーザーにてログインしておこなってください。  
※Administrator権限がないと正常にインストールできません。

瞬快やHDD KEEPER等の環境復元システムをご利用の場合、復元システムを停止してから作業を実施してください。

※複数ユーザーでご利用の場合は、ご利用ユーザーで動作確認を実施してから復元システムを開始させてください。

インストール作業で利用するインストール用CD-ROMは以下のいずれかとなります。  
・「xSync Classroom」

! インストールについて

■ xSync Classroomの場合

パッケージに同梱されている手順書を参考に作業をおこなってください。